

愛知県保険医協会 学生会員ニュース No.45

発行：愛知県保険医協会

住所：〒466-8655名古屋市昭和区妙見町19-2

TEL：052-832-1345 FAX：052-834-3512

ホームページ：<https://aichi-hkn.jp/>

e-mail：aichi-hkn@doc-net.or.jp

【学生会員のみなさんへ】

まだ7月だというのに、台風が上陸したり、九州や西日本では何十年に一度の大雨により大きな被害が出たりと自然災害が気になりますね。8月も猛暑のようです。熱中症には気をつけましょう。

7月7日七夕の日に、国連では「核兵器禁止条約」が採択されました。保険医協会では核兵器に反対する活動を積極的に行っています。8月の原爆記念日を前に核兵器廃絶について考えてみましょう。

【国連で核兵器禁止条約が採択されました】

7月7日七夕の日に、世界の平和にとって大きな出来事がありました。人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が、ニューヨークの国連本部で開かれていた「交渉会議」で国連加盟国の3分の2にあたる122カ国の賛成で採択されました。



この中身は、核兵器の開発や製造、実験、配備、移転を包括的に禁止し、さらに「核兵器を使用するとの威嚇を禁止」という核による抑止力も否定しました。また、前文には「核兵器使用の被害者の受け入れ難い苦しみと危害に留意する」と明記され、この条約を作り上げた力が「ヒバクシャ」の方々をはじめとする世界の草の根の運動にあることを示すもので、核廃絶を願う国際社会の強いメッセージといえます。この条約の根底には、核が使われたら、人命や経済、社会生活に甚大な被害がでるだけでなく救出活動も長期間できない、放射性物質による環境破壊も続くという非人道性の兵器は全面的に禁止すべきという考え方があります。

愛知県では核戦争に反対する医師の会・愛知が1982年4月11日に結成されました。「核戦争は最大の健康と環境に対する破壊である。広島・長崎の被爆の実相を知りその後に続く被爆者の苦しみを考えればわかるように、核戦争が起きてしまってからでは遅すぎる。医師の治療は役立たない。予防が第一。核戦争の予防に力を尽くすことが、患者の命と健康を守る医師の役割」という呼びかけで始まった活動です。愛知県保険医協会もこの会と協力し核兵器廃絶の取り組みを行っており、今回の核兵器禁止条約の採択を心から歓迎します。



しかし、アメリカ、ロシアなど核を持つ国はどれも今回の条約採択に加わっておらず、条約の実効性が疑われ、今後の軍縮、不拡散も進まないのではとの声もあります。でも初めて核兵器そのものを禁止する国際法規ができ、核兵器保有国に対し、削減を促す国際世論が高まることになるでしょう。

日本政府は核保有国が不参加では軍縮論議は進まないとして条約に署名しないことを決めました。唯一の戦争被爆国の政府が歴史的な条約に背を向ける態度をとっていることは、内外から強い失望と批判も招いています。保険医協会としては日本政府が従来の立場を再検討し、核兵器禁止条約に参加することを求めます。